

〇〇建設株式会社 御中

ご発注者名:

〇〇市 〇〇〇〇局 〇〇部 殿

試験対象件名:

〇〇〇住宅解体撤去他工事

建築用アルコール系塗膜はく離剤

『バイオハクリRE』工法

塗膜はく離試験結果報告書 (例)

平成28年10月19日

山一化学工業株式会社

剥離事業部



〒110-0005 東京都台東区上野 1-10-12

(商工中金・第一生命上野ビル10階)

TEL 03-3835-8660

FAX 03-3835-1128

建築用アルコール系塗膜はく離剤「バイオハクリRE」工法 塗膜はく離試験計画書

1. 塗膜剥離試験の目的

山一化学工業株式会社

既存塗膜への「バイオハクリRE工法」の適性を確認する。

2. 概要

① 試験対象工事名	〇〇市 〇〇〇〇局 〇〇〇 ご発注 〇〇〇住宅解体撤去他工事	
② 試験実施日	平成28年10月17日(月)～10月19日(水) (全3日間)	
③ 試験(測定)内容	バイオハクリRE工法 適性評価試験 ※ はく離試験実施時の着用保護具 [着用目的] 有害物質含有塗膜(アスベスト等)の はく離作業時、作業場外への拡散逸散防止 および 塗膜はく離剤塗付作業時(刷毛塗り) 作業者保護目的のため下記保護具を着用の 上、作業を実施する。 ・保護メガネ ・保護手袋 ・有機溶剤用マスク、防塵マスク ・全身化学防護服 ・他、安全保護用具一式着用。	
④ 立会者(受注会社)	〇〇建設株式会社 監督員 〇〇 〇 氏	連絡先: 〇〇市〇〇〇〇〇〇 1-2-3 TEL: (000) 111-2222
⑤ 立会者(施工会社)	株式会社 〇〇〇〇 主任技術者 〇〇〇〇 氏	連絡先: 〇〇市〇〇〇〇〇〇 1-2-3 TEL: (000) 111-2222
⑥ 実施者(塗膜はく離剤製造会社)	山一化学工業株式会社 剥離事業部 次長 石井達実	連絡先: 東京都台東区上野1-10-12 10階 TEL: (03) 3835-8660

3. 工程

作業工程	平成28年10月17日(月)						平成28年10月18日(火)						平成28年10月19日(水)						備考
	10	11	12	13	14	15	10	11	12	13	14	15	10	11	12	13	14	15	
① 作業準備	◆																		試験箇所の養生 既存膜厚を測定
② バイオハクリRE 塗付	◆						◆												塗付方法: はけ塗り
③ 軟化養生時間の経過(放置時間)																			塗膜軟化状態の経過観察・確認。
④ 軟化塗膜のはく離作業							◆						◆						手工具:皮スキ、 刃付スクレーパーを使用。
⑤ 廃棄物の回収・重量計測							◆						◆						除去した塗膜の回収 養生シートの回収。

※ バイオハクリRE 工法 1工程: バイオハクリRE 塗付～既存塗膜への浸透軟化時間の経過～手工具による塗膜はく離除去～はく離した塗膜の回収。

※ バイオハクリRE 工法 1工程実施の結果、残存する塗膜がある場合、バイオハクリRE 工法 2工程を実施する。

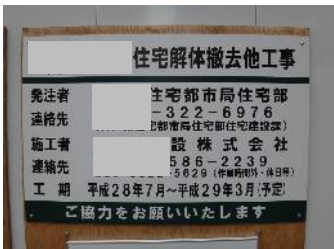
4. 塗膜はく離試験箇所 および 工程

試験箇所			10月17日(月)	10月18日(火)	10月19日(水)	記号	項 目
1 2 3	No.1	1階 壁面	① 塗付パターンA	P1	-	J	P1 塗付(塗付量 1.0 kg/m ²)
			② 塗付パターンB	P2	J、P3	J	P2 塗付(塗付量 0.8 kg/m ²)
			③ 塗付パターンC	P3	J	J	P3 塗付(塗付量 0.5 kg/m ²)
4 5 6	No.2	1階 天井面	① 塗付パターンA	P1	-	J	P4 塗付(既存塗膜厚確認後塗付量設定)
			② 塗付パターンB	P2	J、P3	J	J 軟化状態となった塗膜のはく離作業
			③ 塗付パターンC	P3	J、P3	J	
7 8 9	No.3	1階 壁面 (たれ壁)	① 塗付パターンA	P1	-	J	
			② 塗付パターンB	P2	J、P3	J	
			③ 塗付パターンC	P3	J、P3	J	

試験区画面積: 0.30m(H)×0.30m(W) = 0.09 m²

※ 現地状況により変更する場合があります。

5. 塗装履歴

①建設年月	1975年(昭和47年)
②建設時塗装仕様	不明
③前回塗替え年月	不明
④塗替時塗装仕様	不明
⑤試験実施状況	【計写01】  工事案内看板 【計写02】  現場所在地 【計写03】  〇〇〇住宅解体撤去他工事 現場外景 【計写04】  【試験箇所: No.1】1階 壁面 試験箇所状況 【計写05】  【試験箇所: No.2】1階 天井面 試験箇所状況 【計写06】  【試験箇所: No.3】1階 壁面 (たれ壁) 既存塗膜状況 【計写07】  【試験箇所: No.1】1階 壁面 既存塗膜状況 【計写08】  【試験箇所: No.2】1階 天井面 既存塗膜状況 【計写09】  【試験箇所: No.3】壁面 (外面部) 既存塗膜状況 【計写07】  塗膜はく離剤: ハイオクリRE (建築用アルコール系塗膜はく離剤) 【計写08】  試験時塗付方法: 刷毛塗り 試験区画面積: $0.30\text{m(H)} \times 0.30\text{m(W)} = 0.09 \text{ m}^2$ 例) 塗付量: $0.5\text{kg/m}^2 \div 45\text{g}/0.09\text{m}^2$ (試験区画面積) 【計写09】  試験時塗付量確認方法: 重量計測 【計写10】  塗膜はく離作業時の手工具 使用工具: 刃付スクレーパー 【計写11】  塗膜はく離作業状況 【計写12】  塗膜はく離作業後の回収塗膜状態 ≡ 湿潤シート状態

「バイオハクリRE」工法 塗膜はく離試験結果まとめ

試験件名：〇〇市 〇〇〇〇局 〇〇部 ご発注 〇〇〇住宅解体撤去他工事

1. 試験結果一覧

調査日			平成28年10月17日(月) (試験:1日目)		平成28年10月18日(火) (試験:2日目)		平成28年10月19日(水) (試験:3日目)		備 考		
天 候			晴 れ		晴 れ		晴 れ		【はく離試験実施時間】 1 日目(10/17) 10:00～13:00 2 日目(10/18) 10:00～13:00 3 日目(10/19) 10:00～12:00		
気 温	計測時間	23℃	10:00	24℃	10:00	24℃	10:00				
湿 度		72%		77%		68%					
調査箇所			1 工程 目			2 工程 目		ま と め			
試験部位			① 既存塗膜 平均膜厚 (μ m)	② ハ ^イ オハクリRE 1回目塗付量 (kg/m ²)	③ 残存塗膜 平均膜厚 (μ m)	④ ハ ^イ オハクリRE 2回目塗付量 (kg/m ²)	⑤ 残存塗膜 平均膜厚 (μ m)	⑥ (②+④) ハ ^イ オハクリRE 塗付量 合計(kg/m ²)	⑦ 塗膜回収 重量合計 (g)	⑧ ハ ^イ オハクリRE 工 法 適用・適否	
1	No.1	壁 面	① 塗付ハ ^ッ ターンA	－	1.0	－	－	－	1.0	182g/0.09m ² ≒ 2,022g/m ²	適
2			② 塗付ハ ^ッ ターンB	－	0.8	－	0.5	－	1.3	205g/0.09m ² ≒ 2,278g/m ²	適
3			③ 塗付ハ ^ッ ターンC	－	0.5	－	0.5	－	1.0	224g/0.09m ² ≒ 2,489g/m ²	適 (推奨)
4	No.2	天 井 面	① 塗付ハ ^ッ ターンA	－	1.0	－	－	－	1.0	135g/0.09m ² ≒ 1,500g/m ²	適
5			② 塗付ハ ^ッ ターンB	－	0.8	－	0.5	－	1.3	134g/0.09m ² ≒ 1,489g/m ²	適
6			③ 塗付ハ ^ッ ターンC	－	0.5	－	0.5	－	1.0	128g/0.09m ² ≒ 1,422g/m ²	適 (推奨)
7	No.3	壁 面 (た れ 壁)	① 塗付ハ ^ッ ターンA	－	1.0	－	－	－	1.0	225g/0.09m ² ≒ 2,500g/m ²	適
8			② 塗付ハ ^ッ ターンB	－	0.8	－	0.5	－	1.3	308g/0.09m ² ≒ 3,422g/m ²	適
9			③ 塗付ハ ^ッ ターンC	－	0.5	－	0.5	－	1.0	298g/0.09m ² ≒ 3,311g/m ²	適 (推奨)

【試験区画面積】

- 【試験部位 No.1】 1階 壁面 0.30m(H)×0.30m(W) = 0.09 m²
【試験部位 No.2】 1階 天井面 0.30m(H)×0.30m(W) = 0.09 m²
【試験部位 No.3】 1階 壁面(たれ壁) 0.30m(H)×0.30m(W) = 0.09 m²

【補足】

- (1) バイオハクリRE 工法 1工程:
① バイオハクリRE 塗付 → ② 塗膜軟化養生時間経過(バイオハクリRE 塗付後の放置時間) →
③ 軟化塗膜のはく離除去 → ④ はく離した塗膜の回収/重量計測
- (2) 測定膜厚値: 試験箇所内の膜厚測定を5回行い平均値を測定値とした。
- (3) バイオハクリRE 塗付方法: 「刷毛塗り」
- (4) 塗付量管理方法: 「重量計」を使用。
- (5) 軟化塗膜の除去方法: 「刃付スクレーパー」を使用。
- (6) はく離した塗膜回収重量計測値: 「回収塗膜と養生マスキング」を含む。

2. 推奨適性条件

(1) 試験結果から「バイオハクリRE 工法」の適用が可能であると判断します。

- ・ 下記に試験結果に基づく「バイオハクリRE」工法の適性条件を示します。

(2) 「バイオハクリRE 工法 適性条件」

- ・ 本適性条件は、気象条件、施工条件のほか諸条件により実施工の際 異なる場合があります。
- ・ 特に、工程 iii 「バイオハクリRE 塗付後、塗膜が軟化状態となり 手工具により はく離除去可能となる 時間（目安）」は 気温、鋼板面温度による影響を大きく受けます。

【留意事項】 冬期低温時の施工について

気温 10℃以下の場合：塗膜への浸透が著しく遅延します。

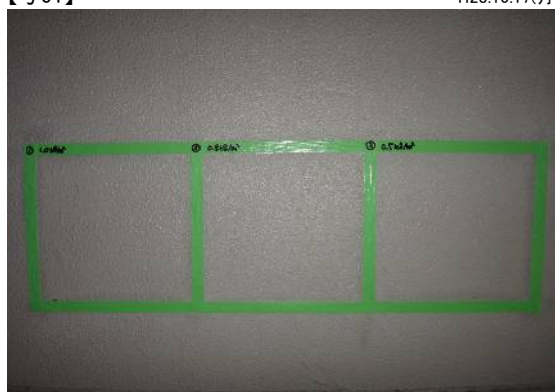
（塗膜はく離剤が塗膜へ浸透し軟化する時間が遅延します。）

《推奨適性条件》【No.1 壁面】（試験箇所 No.1 壁面 ③ 試験結果に準じる）

工程	バイオハクリRE 工法内訳	施工データ	備 考
i	施工実施回数	1工程	【バイオハクリRE工法 1工程】 塗付～塗膜軟化～塗膜はく離～回収
ii	塗付量	1.10 kg/m ² (塗付時ロス率10%含む)	【内訳】塗付量: 0.5 kg/m ² (1回目) + 0.5 kg/m ² (2回目) + 塗付時ロス率10% = 1.10 kg/m ² /回
iii	塗付後、塗膜が軟化状態となり 手工具ではく離除去可能となる時間（目安）	塗付後放置時間 24時間以上経過後	施工時の気温が冬期低温時の場合(10℃以下) 塗膜への浸透軟化作用が著しく遅延します。
iv	塗膜回収重量（目安）	224g/0.09 m ² ≒ 2,489g/m ²	はく離回収塗膜 および 養生テープ・マスカー含む
v	バイオハクリRE工法による 塗膜はく離除去完了状態	※	試験結果写真【No.04】の状態

※塗膜はく離作業後の躯体面の凹部には
手工具(刃付スクレーパーなど)では作用上除去出来ない塗膜が残存する状態。

【写01】 H28.10.17(月)



【試験箇所 No.1】1階 壁面

左から 試験箇所

- ① 壁面（塗付パターンA）
- ② 壁面（塗付パターンB）
- ③ 壁面（塗付パターンC）

【写02】 H28.10.18(火)



【試験箇所 No.1】塗膜はく離作業終了状態（1回目）

左から 試験箇所

- ① 壁面（塗付パターンA） 塗付後48時間迄放置
- ② 壁面（塗付パターンB） 残存有り：最下層部が残存する。
- ③ 壁面（塗付パターンC） 残存有り：最下層部が残存する。

【写03】 H28.10.19(水)



【試験箇所 No.1】塗膜はく離作業終了状態（2回目）

左から 試験箇所

- ① 壁面（塗付パターンA） 残存有り：最下層部の塗膜が残存する。
- ② 壁面（塗付パターンB） 残存無し：注）躯体凹部には塗膜が残存する。
- ③ 壁面（塗付パターンC） 残存無し：注）躯体凹部には塗膜が残存する。

《推奨》

【写04】 H28.10.19(水)



【試験箇所 No.1 ③】壁面（塗付パターンC）

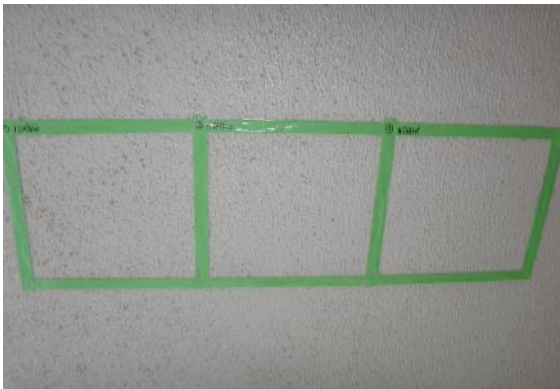
推奨施工条件の塗膜はく離作業結果

《推奨適性条件》【No.2 天井面】（試験箇所 No.2 天井面 ③ 試験結果に準じる）

工程	バイオハクリRE 工法内訳	施工データ	備 考
i	施工実施回数	1工程	【バイオハクリRE工法 1工程】 塗付～塗膜軟化～塗膜はく離～回収
ii	塗付量	1.10 kg/m ² (塗付時ロス率10%含む)	【内訳】塗付量：0.5 kg/m ² (1回目) + 0.5 kg/m ² (2回目) + 塗付時ロス率10% = 1.10 kg/m ² /回
iii	塗付後、塗膜が軟化状態となり 手工具ではく離除去可能となる時間（目安）	塗付後放置時間 24時間以上経過後	施工時の気温が冬期低温時の場合(10℃以下) 塗膜への浸透軟化作用が著しく遅延します。
iv	塗膜回収重量（目安）	224g/0.09 m ² ≒ 2,489g/m ²	はく離回収塗膜 および 養生テープ・マスカー含む
v	バイオハクリRE工法による 塗膜はく離除去完了状態	※	試験結果写真【No.08】の状態

※塗膜はく離作業後の躯体面の凹部には
手工具(刃付スクレーパーなど)では作用上除去出来ない塗膜が残存する状態。

【写05】 H28.10.17(月)



【試験箇所 No.2】1階 天井面

左から 試験箇所

- ① 天井面（塗付パターンA）
- ② 天井面（塗付パターンB）
- ③ 天井面（塗付パターンC）

【写06】 H28.10.18(火)



【試験箇所 No.2】塗膜はく離作業終了状態（1回目）

左から 試験箇所

- ① 天井面（塗付パターンA） 塗付後48時間迄放置
- ② 天井面（塗付パターンB） 残存有り：最下層部が残存する。
- ③ 天井面（塗付パターンC） 残存有り：最下層部が残存する。

【写07】 H28.10.19(水)



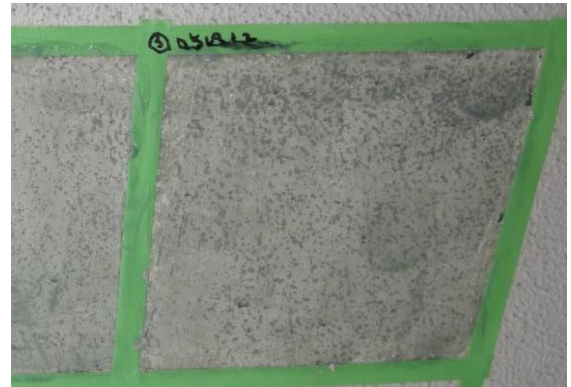
【試験箇所 No.2】塗膜はく離作業終了状態（2回目）

左から 試験箇所

- ① 天井面（塗付パターンA） 残存有り：最下層部の塗膜が残存する。
- ② 天井面（塗付パターンB） 残存無し：注）躯体凹部には塗膜が残存する。
- ③ 天井面（塗付パターンC） 残存無し：注）躯体凹部には塗膜が残存する。

《推奨》

【写08】 H28.10.19(水)



【試験箇所 No.2 ③】天井面（塗付パターンC）

推奨施工条件の塗膜はく離作業結果

《推奨適性条件》【No.3 壁面（たれ壁）】（試験箇所 No.3 壁面（たれ壁）③ 試験結果に準じる）

工程	バイオハクリRE 工法内訳	施工データ	備考
i	施工実施回数	1工程	【バイオハクリRE工法 1工程】 塗付～塗膜軟化～塗膜はく離～回収
ii	塗付量	1.10 kg/㎡ (塗付時ロス率10%含む)	【内訳】塗付量：0.5 kg/㎡(1回目) + 0.5 kg/㎡(2回目) + 塗付時ロス率10% = 1.10 kg/㎡/回
iii	塗付後、塗膜が軟化状態となり 手工具ではく離除去可能となる時間（目安）	塗付後放置時間 24時間以上経過後	施工時の気温が冬期低温時の場合(10℃以下) 塗膜への浸透軟化作用が著しく遅延します。
iv	塗膜回収重量（目安）	298g/0.09 ㎡ ≒ 3,311g/㎡	はく離回収塗膜 および 養生テープ・マスカー含む
v	バイオハクリRE工法による 塗膜はく離除去完了状態	※	試験結果写真【No.12】の状態

※塗膜はく離作業後の躯体面の凹部には
手工具(刃付スクレーパーなど)では作用上除去出来ない塗膜が残存する状態。

【写09】 H28.10.17(月)



【試験箇所 No.3】1階 壁面（たれ壁）

左から 試験箇所

- ① 壁面（たれ壁）（塗付パターンA）
- ② 壁面（たれ壁）（塗付パターンB）
- ③ 壁面（たれ壁）（塗付パターンC）

【写10】 H28.10.18(火)



【試験箇所 No.3】塗膜はく離作業終了状態（1回目）

左から 試験箇所

- ① 壁面（塗付パターンA） 塗付後48時間迄放置
- ② 壁面（塗付パターンB） 残存有り：最下層部が残存する。
- ③ 壁面（塗付パターンC） 残存有り：最下層部が残存する。

【写11】 H28.10.19(水)



【試験箇所 No.2】塗膜はく離作業終了状態（2回目）

左から 試験箇所

- ① 壁面（塗付パターンA） 残存有り：最下層部の塗膜が残存する。
- ② 壁面（塗付パターンB） 残存無し：注）躯体凹部には塗膜が残存する。
- ③ 壁面（塗付パターンC） 残存無し：注）躯体凹部には塗膜が残存する。

《推奨》

【写12】 H28.10.19(水)



【試験箇所 No.3 ③】壁面（たれ壁）（塗付パターンC）

推奨施工条件の塗膜はく離作業結果

2. 考 察

今回試験部位に於ける「バイオハクリRE 工法」による塗膜はく離結果について

① 残存した塗膜・部位

- i) 残存した塗膜: 最下層塗膜 (色相: 白色)
- ii) 残存した部位: 躯体下地面の凹部

② 原因・理由

- ・ 手工具(刃付きスクレーパー、皮スキなど)では、作用上凹部に残存する塗膜は除去できないため
躯体下地面の凹部には塗膜は残存します。

【参考図1】

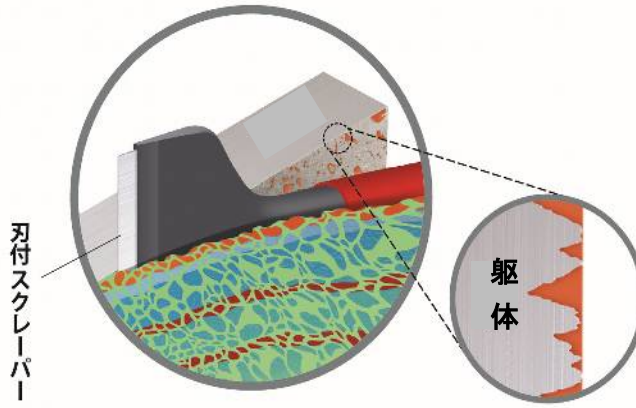


図: 躯体下地面凹部に残存する塗膜の状態

【参考写真1】



試験箇所 No.1 壁面 ③ 塗膜はく離作業完了状態
躯体下地面凹部に残存する塗膜の状態

③ 躯体下地面凹部に残存する残存塗膜に関する弊社見解

- i) バイオハクリRE工法 により塗膜はく離作業後に残存する塗膜は、
バイオハクリRE (塗膜はく離剤) により 浸透・軟化した後、乾燥した状態であり「塗膜付着性阻害物質」と考え
ます。本残存物上に再塗装を行なった場合、塗膜付着性障害等の不具合が生じる可能性が予見されます。
(解体時除く)
- ii) バイオRE工法により塗膜はく離作業実施、躯体下地面の凹部に残存した塗膜は、
手工具(刃付スクレーパー、皮スキなど)、電動工具(ディスクサンダーなど)、高圧水洗 等により除去して下さい。
- iii) バイオハクリRE工法により塗膜はく離作業後、必ず塗装される塗料に適する下地調整を実施して下さい。
- iv) バイオハクリRE工法により塗膜除去した後、残存した塗膜の除去方法 及び 再塗装される塗料に適する
下地調整程度 は当事者間で協議を行なって下さい。

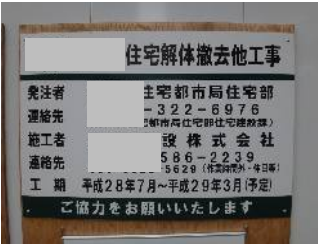
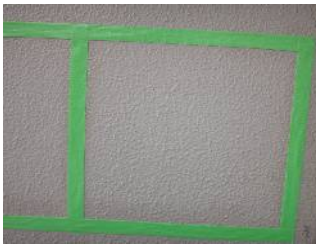
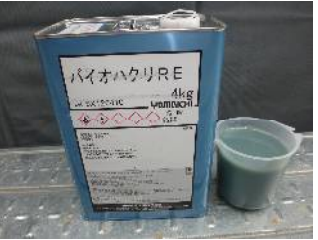
〇〇建設株式会社 御中

試験件名 : 〇〇市 〇〇〇〇局 〇〇部 ご発注 〇〇〇住宅解体撤去他工事
 試験実施日時 : 1日目 平成28年 10月 17日(月) 10:00~12:00
 : 2日目 平成28年 10月 18日(火) 10:00~12:00
 : 3日目 平成28年 10月 19日(水) 10:00~11:30
 試験条件 : バイオハクリRE 1回目塗付量: 0.5 kg/m²/回 バイオハクリRE 1回目塗付後の軟化養生時間(放置時間): 24時間
 : バイオハクリRE 2回目塗付量: 0.5 kg/m²/回 バイオハクリRE 2回目塗付後の軟化養生時間(放置時間): 24時間

《推奨施工条件》【試験箇所 No.1-③ 1階 壁面】 バイオハクリRE 塗付量: 0.5kg/m²/回(1回目) + 0.5kg/m²/回(2回目) = 合計塗付量: 1.0kg/m²

山一化学工業株式会社 剝離事業部

試験1日目: 平成28年10月17日(月)

1. 試験対象工事 概要	2. 試験対象工事 全景	3. 試験部位	4. 塗膜構成の確認	5. 試験箇所の状態
 工事概要	 全景 建設年: 1975年(昭和47年)	 【試験箇所 No.1】1階 壁面 状況	 塗膜構成の確認: 詳細不明	 【試験箇所 No.1-③】1階 壁面 状況 試験区画面積: 0.30m(H) × 0.30m(W) = 0.09m²
 バイオハクリRE (建築構造物用アルコール系塗膜はく離剤)	 塗付方法: 刷毛塗り	 塗付量確認方法: 重量測定管理法 試験区画面積: 0.09m² 試験区画への塗付量: 0.5 kg/m² (≒ 45g/0.09m²)	 バイオハクリRE 塗付完了状態(1回目) 塗付量: 0.5kg/m² (≒ 45g/0.09m²)	 接写

試験2日目：平成28年10月18日(火)

9. 塗付後 24時間経過状態 (1回目)



バイオハクリRE 塗付量: $0.5\text{kg}/\text{m}^2$
塗付後 24時間経過状態 (1回目)

接写

10. 浸透軟化状態の確認 (1回目)



塗膜の軟化状態の確認
皮スキなどで塗膜の軟化状態を確認する。

11. 塗膜はく離作業 (1回目)



塗膜はく離作業 (1回目)
使用工具: 刃付スクレーパー

12. 塗膜はく離除去作業完了状態 (1回目)



塗膜はく離作業(1回目)の状態
1回目の塗膜はく離作業後、最下層塗膜層が残存する状態

接写

13. はく離除去塗膜の回収状態 (1回目)



はく離除去塗膜の回収状態 ≒ 「湿潤シート状態」



14. バイオハクリRE 塗付 (2回目)



塗付方法: 刷毛塗り



塗付量確認方法: 重量測定管理法
試験区画面積: 0.09m^2
試験区画への塗付量: $0.5\text{ kg}/\text{m}^2$
($\approx 45\text{g}/0.09\text{m}^2$)

15. バイオハクリRE 塗付完了状態 (2回目)



バイオハクリRE 塗付完了状態 (2回目)
塗付量: $0.5\text{kg}/\text{m}^2$ ($\approx 45\text{g}/0.09\text{m}^2$)

接写

試験3日目：平成28年10月19日(水)

16. 塗付後 24時間経過状態 (2回目)



バイオハクリRE 塗付量: 0.5kg/m²
塗付後 24時間経過状態 (2回目)
※ 写真左側から 試験箇所 No.1-①
試験箇所 No.1-②
試験箇所 No.1-③

接写

17. 浸透軟化状態の確認 (2回目)



塗膜の軟化状態の確認
皮スキなどで塗膜の軟化状態を確認する。

18. 塗膜はく離作業 (2回目)



塗膜はく離作業 (2回目)
使用工具: 刃付スクレーパー

19. 塗膜はく離除去作業完了状態 (2回目)



塗膜はく離除去作業完了状態



接写

【バイオハクリRE工法による塗膜はく離完了状態】

20. はく離除去塗膜の回収状態 (2回目)



はく離除去塗膜の回収状態 ≡ 「湿潤シート状態」。

21. 塗膜回収重量測定



はく離回収した塗膜重量測定状態
224g/0.09m² ≒ 2.489g/m²
(回収塗膜および養生マスキング含む)

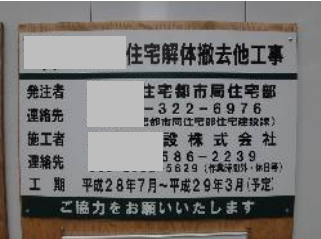
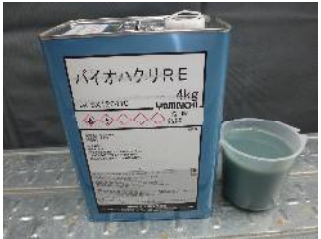
〇〇建設株式会社 御中

試験件名 : 〇〇市 〇〇〇〇局 〇〇部 ご発注 〇〇〇住宅解体撤去他工事
試験実施日時 : 1日目 平成28年 10月 17日(月) 10:00~12:00
: 2日目 平成28年 10月 18日(火) 10:00~12:00
: 3日目 平成28年 10月 19日(水) 10:00~11:30
試験条件 : バイオハクリRE 1回目塗付量: 0.5 kg/m²/回 バイオハクリRE 1回目塗付後の軟化養生時間(放置時間): 24時間
: バイオハクリRE 2回目塗付量: 0.5 kg/m²/回 バイオハクリRE 2回目塗付後の軟化養生時間(放置時間): 24時間

【推奨施工条件】【試験箇所 No.2-③ 1階 天井面】 バイオハクリRE 塗付量: 0.5kg/m²/回(1回目)+0.5kg/m²/回(2回目)= 合計塗付量: 1.0kg/m²

山一化学工業株式会社 剥離事業部

試験1日目: 平成28年10月17日(月)

1. 試験対象工事 概要	2. 試験対象工事 全景	3. 試験部位	4. 塗膜構成の確認	5. 試験箇所の状態
 住宅解体撤去他工事 発注者 宅領市局住宅部 連絡先 -322-6976 5都市局住宅部住宅課課長 施工者 設株式会社 連絡先 586-2239 5829(作業時間: 平日9時~18時) 工期 平成28年7月~平成29年3月(予定) ご協力をお願いいたします	 全景 建設年: 1975年(昭和47年)	 【試験箇所 No.2】1階 天井面 状況	 塗膜構成の確認: 詳細不明	 【試験箇所 2-③】1階 壁面 状況 試験区画面積: 0.30m(H)×0.30m(W)=0.09m²
工事概要	全景 建設年: 1975年(昭和47年)	【試験箇所 No.2】1階 天井面 状況	塗膜構成の確認: 詳細不明	【試験箇所 2-③】1階 壁面 状況 試験区画面積: 0.30m(H)×0.30m(W)=0.09m ²
6. 塗膜はく離剤	7. バイオハクリRE 塗付(1回目)	8. バイオハクリRE 塗付完了状態(1回目)		
 バイオハクリRE (建築構造物用アルコール系塗膜はく離剤)	 塗付方法: 刷毛塗り	 塗付量確認方法: 重量測定管理法 試験区画面積: 0.09m² 試験区画への塗付量: 0.5 kg/m² (≒ 45g/0.09m²)	 バイオハクリRE 塗付完了状態(1回目) 塗付量: 0.5kg/m² (≒ 45g/0.09m²)	 接写

試験2日目：平成28年10月18日(火)

9. 塗付後 24時間経過状態 (1回目)



バイオハクリRE 塗付量: $0.5\text{kg}/\text{m}^2$
塗付後 24時間経過状態 (1回目)

接写

10. 浸透軟化状態の確認 (1回目)



塗膜の軟化状態の確認
皮スキなどで塗膜の軟化状態を確認する。

11. 塗膜はく離作業 (1回目)



塗膜はく離作業 (1回目)
使用工具: 刃付スクレーパー

12. 塗膜はく離除去作業完了状態 (1回目)



塗膜はく離作業(1回目)の状態
1回目の塗膜はく離作業後、最下層塗膜層が残存する状態

接写

13. はく離除去塗膜の回収状態 (1回目)



はく離除去塗膜の回収状態 ≡ 「湿潤シート状態」



14. バイオハクリRE 塗付 (2回目)

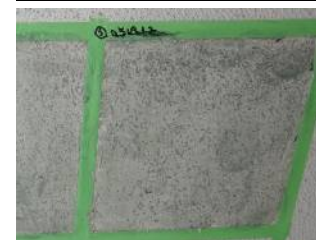


塗付方法: 刷毛塗り



塗付量確認方法: 重量測定管理法
試験区画面積: 0.09m^2
試験区画への塗付量: $0.5\text{ kg}/\text{m}^2$
($\approx 45\text{g}/0.09\text{m}^2$)

15. バイオハクリRE 塗付完了状態 (2回目)



バイオハクリRE 塗付完了状態 (2回目)
塗付量: $0.5\text{kg}/\text{m}^2$ ($\approx 45\text{g}/0.09\text{m}^2$)

接写

試験3日目：平成28年10月19日(水)

16. 塗付後 24時間経過状態 (2回目)



バイオハクリRE 塗付量: 0.5kg/m²
塗付後 24時間経過状態 (2回目)

接写

17. 浸透軟化状態の確認 (2回目)



塗膜の軟化状態の確認
皮スキなどで塗膜の軟化状態を確認する。

18. 塗膜はく離作業 (2回目)



塗膜はく離作業 (2回目)
使用工具: 刃付スクレーパー

19. 塗膜はく離除去作業完了状態 (2回目)



塗膜はく離除去作業完了状態

接写

【バイオハクリRE工法による塗膜はく離完了状態】

20. はく離除去塗膜の回収状態 (2回目)



よく離除去塗膜の回収状態 ≒ 「湿潤シート状態」。

21. 塗膜回収重量測定



はく離回収した塗膜重量測定状態
128g/0.09m² ≒ 1,422g/m²
(回収塗膜および養生マスキング含む)

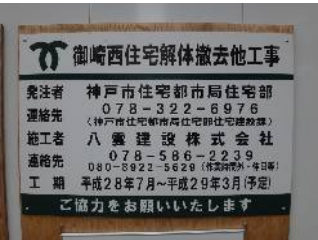
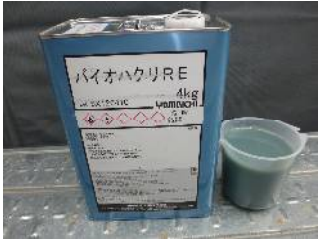
〇〇建設株式会社 御中

試験件名 : 〇〇市 〇〇〇〇局 〇〇部 ご発注 〇〇〇住宅解体撤去他工事
 試験実施日時 : 1日目 平成28年 10月 17日(月) 10:00~12:00
 : 2日目 平成28年 10月 18日(火) 10:00~12:00
 : 3日目 平成28年 10月 19日(水) 10:00~11:30
 試験条件 : バイオハクリRE 1回目塗付量: 0.5 kg/m²/回 バイオハクリRE 1回目塗付後の軟化養生時間(放置時間): 24時間
 : バイオハクリRE 2回目塗付量: 0.5 kg/m²/回 バイオハクリRE 2回目塗付後の軟化養生時間(放置時間): 24時間

【推奨施工条件】【試験箇所 No.3-③ 1階 壁面(たれ壁)】 バイオハクリRE 塗付量: 0.5kg/m²/回(1回目)+0.5kg/m²/回(2回目) = 合計塗付量: 1.0kg/m²

山一化学工業株式会社 剥離事業部

試験1日目: 平成28年10月17日(月)

1. 試験対象工事 概要	2. 試験対象工事 全景	3. 試験部位	4. 塗膜構成の確認	5. 試験箇所の状態
 工事概要	 全景 建設年: 1975年(昭和47年)	 【試験箇所 No.3】1階 壁面(たれ壁)	 塗膜構成の確認: 詳細不明	 【試験箇所 3-③】1階 壁面 状況 試験区画面積: 0.30m(H)×0.30m(W) = 0.09m²
 バイオハクリRE (建築構造物用アルコール系塗膜はく離剤)		 塗付方法: 刷毛塗り	 塗付量確認方法: 重量測定管理法 試験区画面積: 0.09m² 試験区画への塗付量: 0.5 kg/m² (≒ 45g/0.09m²)	 バイオハクリRE 塗付完了状態(1回目) 塗付量: 0.5kg/m² (≒ 45g/0.09m²)
				 接写

試験2日目：平成28年10月18日(火)

9. 塗付後 24時間経過状態 (1回目)



バイオハクリRE 塗付量: 0.5kg/m²
塗付後 24時間経過状態 (1回目)



接写

10. 浸透軟化状態の確認 (1回目)



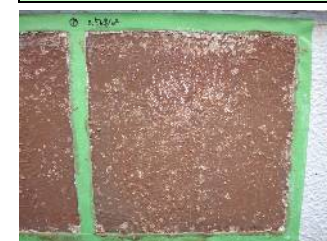
塗膜の軟化状態の確認
皮スキなどで塗膜の軟化状態を確認する。

11. 塗膜はく離作業 (1回目)



塗膜はく離作業 (1回目)
使用工具: 刃付スクレーパー

12. 塗膜はく離除去作業完了状態 (1回目)



塗膜はく離作業(1回目)の状態
1回目の塗膜はく離作業後、最下層塗膜層が残存する状態



接写

13. はく離除去塗膜の回収状態 (1回目)



はく離除去塗膜の回収状態 ≒「湿潤シート状態」

ブランク

14. バイオハクリRE 塗付 (2回目)



塗付方法: 刷毛塗り



塗付量確認方法: 重量測定管理法
試験区画面積: 0.09m²
試験区画への塗付量: 0.5 kg/m²
(≒ 45g/0.09m²)

15. バイオハクリRE 塗付完了状態 (2回目)



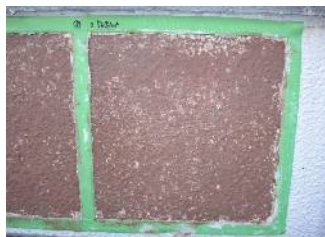
バイオハクリRE 塗付完了状態 (2回目)
塗付量: 0.5kg/m² (≒ 45g/0.09m²)



接写

試験3日目：平成28年10月19日(水)

16. 塗付後 24時間経過状態 (2回目)



バイオハクリRE 塗付量: 0.5kg/m²
塗付後 24時間経過状態 (2回目)

接写



17. 浸透軟化状態の確認 (2回目)



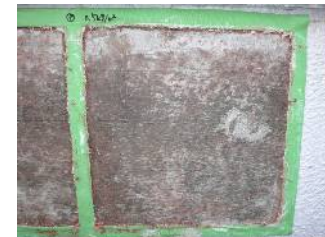
塗膜の軟化状態の確認
皮スキなどで塗膜の軟化状態を確認する。

18. 塗膜はく離作業 (2回目)



塗膜はく離作業 (2回目)
使用工具: 刃付スクレーパー

19. 塗膜はく離除去作業完了状態 (2回目)



塗膜はく離除去作業完了状態

接写



【バイオハクリRE工法による塗膜はく離完了状態】

20. はく離除去塗膜の回収状態 (2回目)



よく離除去塗膜の回収状態 ≒ 「湿潤シート状態」。

21. 塗膜回収重量測定



はく離回収した塗膜重量測定状態
298g/0.09m² ≒ 3,311g/m²
(回収塗膜および養生マスキング含む)